

小松市教育目標（学びの道しるべ）策定について

小松市教育委員会

1 教育をめぐる社会の変化

経済社会のグローバル化や科学技術の進歩、少子高齢化社会の進行など教育を取り巻く環境が大きく変化するとともに、家庭や地域社会などの教育力の低下、学校でのいじめや問題行動など様々な問題が生じています。

こうした教育をめぐる様々な課題に対応し、新しい時代の教育の方向性を示すため、平成18年には教育基本法が改正され、平成20年には学習指導要領改訂、平成23年には石川の教育振興計画が策定されました。

2 小松市教育目標の見直し

このような背景の中、教育目標を見直し、新たな教育目標を「学びの道しるべ」と題して策定しました。

策定にあたりましては、これまでの教育の普遍的な理念である「人格の完成」や「個人の尊厳」を大切にしつつ

- ①知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間
- ②公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民
- ③我が国の伝統と文化を基盤として国際的な社会を生きる日本人

の育成を目指すという改正教育基本法の趣旨を念頭に、「小松らしさ」と「分かり易く簡潔な」表現に留意いたしました。

3 「学びの道しるべ」について

新しい教育目標のキーワードは、「智仁勇と創造」です。「小松の将来を担い、創る人」とは、「智（知）・仁（徳）・勇（体）」と兼備し、「郷土を愛し世界にはばたく人」です。

また、教育は、「教える者」と「教えられる者」との間に成り立つものです。しかし、生涯学習社会といわれる今日、究極には「自己教育」との認識のもと、市民や児童生徒が自ら主体となった教育・学習活動を行うことが大切です。そのために「道標（理念・目標）」を提示し、新しい教育目標を「学びの道しるべ」としました。